

明石市立大久保北中学校

第38回生  
学年通信

# しあわせなろう

2022年  
5月13日  
第13号

## 挫折から希望へ

昨日、道徳でバイオリニストの千住真理子さんの「挫折から希望へ」を学習しました。

著名なバイオリニストとして世界を舞台に活躍する千住真理子さん。天才と言われることに悩み苦しみながらも努力を続けたことや、末期ガン患者のための演奏をとおして、バイオリニストとしての自信と新たな希望を見出すことができたことなど、千住真理子さんの生き方から、「人間には弱さとともにそれを克服する強さや気高さがあること」を学び、そして「よりよい生き方」について考える時間になりました。



入学してからの自分の生活を思いかえしてみましよう。様々な希望や不安を胸に入学し、こうした方がいい、こうあるべきだと自ら考え、正しい行動を進んでとっていた4月。そして、中学校生活にも慣れてきた5月。自分を律することができず、弱い心に負けてしまっている人の姿もちらほらと目にするようになりました。

頑張る自分がいたり、負けてしまう自分がいたり、自分の弱さに気づいていたり、人の目が気になったり、自分の中で葛藤があったり……。様々な自分がありますが、すべてひっくるめて自分です。自分の力で克服しようと努力することが、夢や希望、楽しみや喜びのある生き方につながりますね。

## 自分に+1プラスワン

2組

僕はまだ12歳だけど、この先、辛いこととかがあると思います。人それぞれ自分の弱さというものも違って誰にでも、弱いところはあると思うけど、それをどうやってカバーしていくのが大事だと思います。

2組

どうやったら直せるか考える。辛い時にすぐあきらめることが私の弱みだから、辛い時は好きなことを考えたり、何を考えたら乗り越えられるかを研究する。日々の積み重ねを大事にする。

6組

自分の弱い部分を強くするために、最後まであきらめないこと、努力すること、全力で頑張ることを忘れず、自分を信じることだと思います。

自分が努力すれば、頑張った分だけ必ず成果を出せると思うので、自分が頑張ることで他の人も頑張れることを忘れたいと思います。



## 人間は努力する限り迷うものだ

ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ（1749～1832）  
ドイツの詩人、劇作家、小説家、自然科学者、政治家、法律家

ゲーテは「人間は努力する限り迷うものだ」と言っています。自分を信じて努力を続けていくことが大切だと分かっているのに、失敗や挫折のたびに迷いが生じることもあります。その迷いや後悔と反省が教訓となって、人間は成長していくのですね。

## わかったふりをしない

人は知っていることよりも知らないことの方が多くあるもの。誰かに聞かれて答えられなくても、恥ずかしがることはない。「わからない」と答えればいいし、わかる人に聞けばいい。

例えば勉強でわからないことがあれば、先生や友達、親など、周囲のわかる人に聞いてみればいい。わかったふりをしてわからないまま放っておくと大変なことになってしまいます。

もちろん自分で調べて分かるようになる。努力をすることは大切です。しかし、自分一人ではどうにもならない時もあります。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」ということわざがあります。一生の恥にならないためにも、素直に聞くのがいいですね。

テスト前、「これどうだったかな〜?」ということもあると思います。そんな時は早めにわかる人に聞いてみよう。きっと快く教えてくれるはずですよ。それに人は頼られるとうれしいものです。

\*\*\*\*\*  
お詫び

先日の学年通信12号に表記の誤りがありました。正しくは、涓滴岩を穿つ（うがつ）です。訂正してお詫び申し上げます。